

四国中央市子育て環境整備基本構想（案）に係るタウンコメントの結果について

1. 募集期間 令和6年3月11日（月）～令和6年4月9日（火）まで
2. 提出者数 8名
3. ご意見等の件数 23件
4. 修正した件数 0件
5. 意見の概要及び市の考え方

（ご提出いただきましたご意見は、趣旨を損なわないよう要約または整理させて頂いております。）

| No. | 意見の概要 | 市の考え方 | 構想修正の有無 |
|-----------------------------|---|---|---------|
| 四国中央市子育て環境整備基本構想（案）全般に関する内容 | | | |
| 1 | ボール遊びが禁止されている公園もあるので、高いフェンスがある公園があればいい。 | 各公園の周辺状況を考慮して、地域の理解が得られ、誰もが楽しく遊べる場所づくりを進めていきます。 | 無 |
| 2 | 遊具の整備が行き届いている公園が限られており、遊具のメインは滑り台である。特に幼児が安全に遊べる場所が限られており、屋内外共に年齢に限定されない遊具、遊び場を整備してほしい。 | 現状の施設状況を把握し、それぞれの公園の特色を考慮して、誰もが安全に遊べる場の整備を進めていきます。 | 無 |
| キッズプレイミュージアム整備編に関する内容 | | | |
| 3 | キッズプレイミュージアム内に、0歳から2歳児が遊ぶゾーンを整備してほしい。 | キッズプレイミュージアム整備の内容の1 基本的な機能（1）乳幼児から高齢者までがくつろいだ雰囲気の中、ゆっくり過ごせる空間としており、今後、基本計画を策定する中で検討します。 | 無 |
| 4 | 新築ではなく、既存施設の有効活用をし、持続可能な再生を目指すべきでは。 | 民間の空き店舗や既存公共施設のリノベーション等が想定されますが、利便性の向上や機能充実のための面積確保に苦慮すると思われます。 建物については循環型社会に寄与する工法を検討します。 | 無 |

| | | | |
|----|--|---|---|
| 5 | <p>キッズプレイミュージアム整備は是非とも実施して欲しい。市内にあることを切に願います。</p> <p>以前は大型商業施設内に天候に左右されない遊び場があった。市が大型商業施設の一部を借り入れて遊び場を整備し、外部委託で運営してみてはどうか。</p> | <p>屋内の遊び場については、雨天時の貴重なあそび場に加え、夏季の熱中症対策等により多くのニーズがあると思われます。</p> <p>大型商業施設の一部借り入れについては、民間事業者の意向があるため動向を注視する必要があります。費用対効果も含め、多方面から検討します。</p> | 無 |
| 6 | <p>芸術に重きをおいた施設を構想しているが、全天候型の施設で、アート体験活動が出来れば良いと思う。</p> | <p>こども目線の様々なアートが体験できる施設を目指します。</p> | 無 |
| 7 | <p>伊予三島駅周辺に整備すれば街も活性化すると思う。</p> | <p>街の活性化に寄与すると考えられますが、伊予三島駅周辺では駐車場や遊び場等の敷地面積の確保が困難であると思われます。整備場所については立地場所やアクセス等を慎重に検討します。</p> | 無 |
| 8 | <p>建設手法は従来の分離発注方式よりPFI方式で設計施工・運営維持管理を行う方が良いと思う。</p> | <p>PFI (Private-Finance-Initiative) とは、民間の資金と経営能力・技術力 (ノウハウ) を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法ですが、今後スケジュール、コスト等検証を行う予定としています。</p> | 無 |
| 9 | <p>キッズプレイミュージアムの名称について、基本方針②では「乳幼児から高齢者までが楽しむ場」とあるが、「キッズ」というと一般的に低学年までのイメージがある。</p> | <p>名称については現在仮称ですので、今後施設イメージに合い、親しみやすい名称を検討します。</p> | 無 |
| 10 | <p>1歳と2歳を迎える際、「木育」をテーマに市より木製のおもちゃを頂いたが、継続して木育できる施設がないので、キッズプレイミュージアムの中で木製おもちゃと触れ合える施設を整備してはどうか。</p> | <p>木製おもちゃはシンプルなデザインが多く、想像力と五感を養うことから、本市では木育を推進しています。</p> <p>キッズプレイミュージアム整備の基本理念では「ワクワク」がこどもの生きる力を育てる。と掲げていますが、木育も含めて、こど</p> | 無 |

| | | | |
|----------|---|--|---|
| | | もがワクワクできる施設を目指します。 | |
| 11 | <p>「育児の環境を整えば子育てしやすい。」の環境とは、こどもの遊ぶ場所を作れば良いということではないと思う。</p> <p>子育てと仕事を両立して安心して育てる環境が必要だと思う。</p> | <p>結婚・出産・子育てに関する市民アンケート結果では、「公園の充実が」が1位となっていることを踏まえ、市民ニーズに合った子育て環境の充実を図ることとしています。</p> <p>また「子育てと仕事を両立できる環境の充実」についても上位にあることから、今後様々な施策を検討します。</p> | 無 |
| 12 | 魅力ある施設運営をするため、プレーワーカー・プレーリーダーの確保を考えて欲しい。 | 市民ニーズに合った魅力あるイベントやワークショップの企画等、専門的な人材配置等を検討します。 | 無 |
| 13 | 子ども若者支援センター「パレット」のように、壁や床にクッションががあり、幼児が安心して利用できる場所が欲しい。 | 乳幼児から使用できる施設を目指していますので、安全安心に遊ぶことができる施設を計画します。 | 無 |
| 【その他の内容】 | | | |
| 14 | 不登校の生徒が自由に通える施設を整備して欲しい。 | 四国中央市では、学校へ行きにくい傾向のある児童・生徒を対象に様々な体験活動や学習活動を通して、心の安定を図りながら社会的自立への支援を行う教育支援センターを4か所設置し運営しています。 | 無 |
| 15 | 少子化の話になると、いつも学校統廃合の話が出てくる。学校は地域の拠点であるので、統廃合は行わないでほしい。 | <p>子どもたちが将来の社会を生き抜くために、行政・学校・保護者・地域が一体となり、子どもたちが必要な資質・能力を身につけていくための体制づくりについて議論し、整えていくことが大切です。</p> <p>今後、地域からの様々なご意見をいただきながら、長期的スパンで、学校規模の適正化を含めた学校教育のあり方を議論し、最適な</p> | 無 |

| | | | |
|----|--|---|---|
| | | 教育環境づくりを進めていきます。 | |
| 16 | 病児保育の受け皿が足りていないので拡充して欲しい。 | 病児・病児後保育事業については、第二期子ども・子育て支援事業計画のニーズ調査から算出しました病児・病児後保育の量の見込みに応じて確保しています。引き続き、病児保育の量の見込みを把握しながら提供体制の充実を図ります。 | 無 |
| 17 | 急患医療センターの診療時間は22時30分までなので、それ以降の子どもの急病の際、県外医療機関まで行っている。夜間の子供の救急医療を整備して欲しい | <p>四国中央市急患医療センターは、地元医師会に所属する開業医の医師のご協力のもと運営しています。昼間はご自身で運営する医療機関で診療した後に急患医療センターで診療いただいております。夜間の診療時間にも限界があります。</p> <p>このようななかで、県全体の取組として「愛媛県子ども医療電話相談（#8000）」や「えひめ救急電話相談（#7119）」により、有資格者が症状を聞き取って緊急性を判断し、対応などの助言や相談を行っています。</p> <p>さらに、新居浜市・西条市と共同で小児二次救急の広域的な受入体制を構築しておりますので、市民の皆様のご理解ご協力をお願いします。</p> | 無 |
| 18 | 手ぶら登園で保護者の負担軽減は出来ませんか。 | <p>保護者の負担軽減につながると考え、登園時に持ち物が減ることや、おむつに名前を書く手間が省けるなど、紙おむつのサブスクリプション事業のモデル実施を検討しています。</p> <p>また、この事業が保育現場への負担とならないよう、乳児保育所や地域型保育所を中心に意見交換</p> | 無 |

| | | | |
|----|---|---|---|
| | | を重ね、本格実施に向けた検討を進めていきます。 | |
| 19 | 乳幼児の健康状態について、定期的にチェックして把握することで、行政がこどもの健康状態を知り、対策することが出来ると思う。 | 乳幼児期は、母子保健法に基づき5回の健康診査を実施しております。乳幼児の健康状態および心身の発育発達評価を行い、疾病や発達上の課題等の早期発見・早期治療（療育）につなげ、保護者が安心して子育てができるよう努めております。健診結果は各種計画にも反映し、乳幼児の健康対策に活用します。 | 無 |
| 20 | 子育て支援アプリ「しこちゅ〜すくすくナビ」は独自の付加価値を付けないと、今後も普及しないと思う。 | 令和4年8月から導入し、令和5年度末の累計ユーザー数は917件となっております。基本機能に加え、オプションとしてアンケート機能を導入し、今後は子育てに関連した教室やイベントのWeb予約機能の追加も予定しております。妊娠期から子育て期の方にとって、より使いやすいサービスとなるよう、ユーザーアンケート等も実施し、活用方法について検討します。 | 無 |
| 21 | 多子世帯子育て支援事業は5人以上の子どもがいなければ支給されない制度で、対象世帯は多くないと思う。制度の見直しが必要だと思う。 | この事業は四国中央市独自の多子世帯応援事業ですが、今後市民のニーズを把握しながら検討します。 | 無 |
| 22 | 国はトップダウンの方法により少子化対策の施策を行っているが解消されていない。 四国中央市では、子どもや若者、子育て家庭の意見を聞いて反映してほしい。 | 四国中央市では現在、少子化対策や子育て・若者支援、また子どもの貧困対策等、こども施策全般に関する「四国中央市こども計画」の策定を検討しています。 その中で、ニーズ調査として児童・保護者・市民等、約6,000名のアンケートを実施して意見を聞く予定で、四国中央市のニーズに即した計画とすることとしています。 | 無 |

| | | | |
|----|--|---|---|
| 23 | <p>市内には子育て支援センターがいくつかあるが、基幹となる支援センターがあれば良いと思う。</p> | <p>四国中央市では6つの子育て支援センターがあり、その中で、子育て支援センター「すくすく」が中心的な施設となっています。</p> <p>ご指摘のとおり皆様に浸透していない点もありますので、今後は積極的に情報発信を行い周知に努めます。</p> | 無 |
|----|--|---|---|